

姉妹都市提携30周年を記念して、市長がウーロンゴン市を訪問します

1 概要

オーストラリア連邦・ウーロンゴン市との姉妹都市提携30周年を記念して、川崎市の代表団がウーロンゴン市を訪問し、両市の今後の交流のあり方について協議を行い、確認書に署名します。

また、川崎市と交流のある施設（ウーロンゴン大学、スミスヒル高等学校等）を視察するほか、両市の交流に尽力された人を訪ね、感謝の意を表します。

訪問期間中には、(一社)茶道裏千家淡交会川崎支部及びシドニー協会による茶会が開催され、ウーロンゴン市民や大学の方々に日本の伝統文化への理解を深める機会を提供します。

2 川崎市代表団

福田 紀彦（川崎市市長）、松原 成文（川崎市議会議長）、
加治 秀基（川崎商工会議所副会頭）、草壁 悟朗（川崎信用金庫理事長）ほか

3 主な訪問スケジュール（予定）

- 7月2日（月） 羽田空港発
- 7月3日（火） ウーロンゴン市着、市内視察等
- 7月4日（水） ウーロンゴン市長表敬訪問（確認書調印等）、茶会、
ウーロンゴン大学視察等
- 7月5日（木） スミスヒル高等学校視察等
- 7月6日（金） ニューサウスウェールズ州多文化省訪問等
- 7月7日（土） 羽田空港着

<参考>

・川崎市民交流団

市民レベルでの友好親善を深めるため、(公財)川崎市国際交流協会主催による市民交流団が秋頃にウーロンゴン市を訪問する予定です。

連絡先 川崎市総務企画局庶務課（国際担当）小出
電話 044-200-3669
FAX 044-200-3746

ウーロンゴン市について

(1) 姉妹都市提携日

1988年5月18日

(2) 基本事項

- 面積 714 平方 km
- 人口 約 21 万人
- シドニーの約 80km 南に位置
- 特徴は、製鉄産業、観光産業、教育事業であり、国内有数のウーロンゴン大学がある。
- 近年はシドニー市からの立地を生かし、研究開発等にも力を入れている。
- ウーロンゴン市があるニューサウスウェールズ州は、世界でも最も文化的多様性の高い州のひとつであり、245 以上の国・地域の方が 215 に渡る言語や方言を話している。



(外務省ホームページから引用)

ウーロンゴン市

(3) ゴードン・ブラッドベリー ウーロンゴン市長について

- 1951 年生まれ (67 歳)
- 2011 年 ウーロンゴン市長就任
- 2017 年 再任
- 2018 年 オーストラリア勲章 (AM) 受章



ゴードン・ブラッドベリー市長
【Gordon Bradbery AM】
(ウーロンゴン市
ホームページから引用)

(4) ウーロンゴン市との主な交流について

- 1992 年度から、ウーロンゴン大学で日本語を学んでいる学生を対象に川崎研修を実施。ホームステイをしながら専修大学での日本語学習や市内視察などを行っている (これまで計 23 回、約 350 名が参加)。
- 1992 年から川崎ジュニア文化賞 (主催: 川崎ジュニア文化賞実行委員会、後援: 川崎市、協賛: 川崎信用金庫) の大賞受賞者が、ウーロンゴン市を親善訪問している。第 27 回となる今回は 8 月に訪問予定。
- 2015 年に本市を拠点に活動する合唱団である「麻生童謡をうたう会」が「K. I. F. A. (かわさき国際友好使節)」としてウーロンゴン市を訪問。合唱を通じた交流を行った。
- 2016 年に教育視察訪問団がウーロンゴン市を訪問し、名誉市長表敬訪問、教育関係施設 (イラワラグラマースクール、ウーロンゴン大学等) の視察、教育関係者との懇談等を実施した。
- 2018 年 1 月から 3 月にかけて、カリタス女子中学高等学校の生徒 3 名が異文化理解や英語力向上を目的として、ウーロンゴン市で留学を行い、留学先の生徒やホームステイ先の市民と交流を図った (K. I. F. A. (かわさき国際友好使節) に認定)。
- 2018 年 8 月 31 日～9 月 11 日、田園調布学園大学が派遣する福祉研修生が、ウーロンゴン市の高齢者施設、養護学校等を訪問する予定。